

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース (2017年6月3日16時00分付け) 農食品部AI発生への対応、緊急関係機関自治体の対策会議の開催

出典URL:

http://www.mafra.go.kr/list.jsp?&newsid=155449423§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2017&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=2&parent_code=3&popup_yn=N&tab_yn=N

(機械翻訳等に基づく仮訳)

農林畜産食品部(以下、農食品部)は、済州市地鶏AI疑い軸申告と関連した首相の緊急指示に従って、6月3日午後3時、ソウル世宗庁舎映像会議室で「農食品部長官主宰、関係省庁次官自治体副団体長AI緊急対策会議」を開催した。

対策会議では、疑い畜申告後に、今までに行われたAI申告の経緯、緊急防疫措置とAI疑い疫学関連家きん農場*(済州市1ヶ所、群山市1)などの疫学調査の状況などを共有し、汎政府的なAI総力対応の体制構築維持のための関係省庁と自治体の協力取り組みを協議した。

* 申告農場が家きんを購入した小売商の所有する済州市所在農場1及び小売商に家きんを供給した全羅北道群山市所在家きん(種鶏)農場1

これに先立ち、金ジェス長官は6月3日午前9時30分、政府世宗庁舎農食品部4階AI防疫対策状況室で「農食品部鳥インフルエンザ(AI)緊急事態会議」を開催した。

緊急事態の会議では、前日の夜、済州市の地鶏AI疑い畜についてH5型AIウイルスの遺伝子が確認されたため、高病原性AI確定に備えて、「高病原性AI防疫対策推進方策」を事前に点検した。

金ジェス長官は、済州島(済州)発生農場の検査進行や緊急防疫措置の履行状況を点検し、迅速な精密検査、申告農場の疫学調査と済州島(済州)全域の強力な防疫措置を指示した。

また、済州島内の緊急防疫措置と地域及び他への伝播を防ぐための済州島全域の空港での遮断防疫(検疫)措置、家きん及び家きん生産物の搬出禁止措置が滞りなく現場で実施されるべきだと強調しつつ、済州島は高病原性AIの発生がなく、緊急防疫措置の経験がないため、農食品部起動防疫機関は済州島(済州市)に積極的に防疫指導及び技術サポートするように命令した。

一方、農食品部の関係省庁、自治体の対策会議直後、ギム・ギョンギョ食品産業室長の主宰で、学界の防疫専門家などが参加する家畜防疫審議会*(家きん疾病分科)を開催し、現在のAIの発生状況を診断し、危機段階調整など、今後の必要な対策を深く議論する計画である。

* 国民安全所疾病管理本部国立環境科学院関係官、農林畜産検疫本部長、家畜衛生防疫支援本部長、大学教授など民間の専門家および生産者団体長などで構成された家畜伝染病管理に関する審議機関